

1 まちづくりの取り組みについて

(1) 第2次磐田市総合計画の中で、まちの将来像を実現するためにまちづくりの基本理念では、4つの柱を重点的に目指していくまちの姿を示しており、磐田市都市計画マスタープランでは、将来都市構造と都市づくりの目標を定めるとともに、地域ごとに具体的なまちづくりの方針が示されている。また、立地適正化計画によって、都市構造上の課題と対応を明示し、PDCAによる進捗管理を行うところである。磐田市のまちづくりの現在の進捗状況と、今後の方向性について以下のとおり質問する。

① 「自然や歴史・文化を大切に守り、まちの魅力として高めることで、市民が誇れるまちを目指す」としており、磐田市都市計画マスタープランにおいて、既成市街地は、良好な居住環境や産業の振興に向け、既存ストックを活かした基盤整備が必要であると捉えているが、50年後100年後の長期的視野に立った、磐田市の魅力を追求したまちづくりには、農商工の各産業の連携に加え、自然・歴史・文化が相互に連携する幅広い取り組みが必要であり、複合施設の展開によるまちづくりが必要であると考えているが、まちづくりにおける現状の課題と長期的課題を捉えた上でのその対応と、今後の具体的取り組み内容を伺う。

② 「企業立地や次世代型農水産業へ参入する企業に対する支援を行う」としているが、企業立地の適地として、工業用地と農用地の土地利用調整の考え方、次世代型農業と既存農業との住み分けと融和の考え方を伺うとともに、参入企業の具体的進展状況と、磐田市産業立地促進事業費補助金や磐田市産業立地奨励補助金制度以外に、今後どのような支援方法が想定されるのか伺う。

③ 「安全で安心して暮らせるまちを目指す」としているが、海岸防潮堤整備にあたっては、松の伐採等が制度上の制約により施工できない事が課題であり、このままでは早期整備が図られない状況である。この事業は、近隣市はじめ国・県との連携が不可欠である。磐田市とし

て隣接市・国・県とどのように連携を図っているか、現状での課題とその課題解決策及び今後の具体的取り組み方法について伺う。

また防災対策事業として、各自治会での自主防災会の活動内容はさまざまであり、自主防災資機材の整備状況も、自治会ごとに差がある。懸念される大災害の対応には、資機材の拡充の必要性があると考えますが、自主防災会への支援制度の、現状と課題について伺うとともに、地域防災活動や自主防災活動への今後の活動支援の内容について具体的に伺う。

2 農業振興策について

(1) 第2次磐田市総合計画の中で、「地域の特性を生かした農林水産業の振興を図るため、多様な担い手の育成・確保や農地の有効活用などを推進するとともに、高付加価値のある生產品の産地化に取り組む」ことを目指しているが、以下のとおり質問する。

① 農業振興における地域の特性は、自然環境・住環境・資源エネルギー環境・インフラ環境に加え、社会環境の変化によって生まれてきている地域支援型農業（CSA）の導入・クラウドファンディングの導入・グローバルギャップ（G-GAP）の取得と普及・オーガニック認証など、さまざまな要素が相互に連携し応用されることが必要であると思われるが、この地域の農業の魅力を再評価した上で、特性をどのように捉え、豊富な条件をどのように生かし、どのように振興を図ろうとしているのか、具体的推進施策を伺う。

② 高付加価値のある生產品の産地化には、革新的生産技術の確立・先駆的实践・地域ブランドの確立・販路の開拓・共同出荷体制の確立・安定供給・安定品質・生産者の所得向上・普及推進・メディアの活用など、多面的・多角的に検討していく必要があると考えるが、産地化に向けての現在の取り組みの具体的進捗状況と今後の方向性を具体的に伺う。